

発行所
大阪市阿倍野区阪南
町一丁目 30 番 34 号
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任 富 和夫
発行責任 和田勝彦

二・三面 特集
大鳴門橋について
四 面 校長対談
クラスポ（軽音フォーク）

重視される盛り上がり

今年の文化祭は、生徒の要望により一本化が採用された。三日(日)には、昨年禁止されていたディスコが、風紀部会の主催によって行われる。また、昨年同様「後夜祭」も予定されている。

「Need, Give It Up 楽しくなければ文化祭ではない」をスローガンに、例年どおり一本化となった今年の文化祭。文化部会が五月に行ったアンケート調査の結果によると、この一本化に対する要望は三年生が一番強かったようである。三年生は過去二年間で「一本化・二分化の両方とも経験しているが、今年の文化祭に一本化を選んだ理由は何であらうか。

これらによって余裕ができた文化クラブの者が、他の催しも見ることができた。また三つめとして、文化クラブ以外の者も同時に発表するので、暇を持て余す者がいなくなるのではないかとこのうのである。

これらの美点により、二分化の時には欠けていた盛り上がりが生まれるのではないだろうか。今年の文化祭が一本化に選ばれた理由は、やはりこの盛り上がり

まず、昨年(二分化)の文化祭を振り返ってみると最大の欠点はやはり盛り上がりがなかったことであろう。クラス発表は、まるで小学生の学芸会のようにであったし、クラブ発表の時も文化部以外の者は暇を持て余していたようだ。しかし美点としては、文化クラブに所属している者が、十分にクラス発表に参加できたということが挙げられる。

逆に、一本化の文化祭に關して言うならば、欠点はクラブとクラスへの参加の両立が難しいということであろう。文化クラブの者はどうしてもクラスへの参加がおそろそかにしがちになつてしまふ。しかし、一本化には美点が多い。まず一つは、文化クラブの発表が二日にわたつて行われるため、発表時間が長くなる。二つめの美点としては、そ

を重視したところにあるのだろう。

ここで、各部会が主催する催し物について触れてみたいと思う。まず、風紀部会主催のデイスコ。日時は十月三日(日)、午前十一時から午後二時までの予定である。場所は一年四組の教室が予定されている。教室の飾りつけとしては、窓にセロハンをはつたり、黒板にテープや花をつけるなど、工夫をこらすようだ。また、垂れ幕を教室の外側に垂らすという案も出ているようにある。デイスコを盛り上げるための手段としては、最初ににぎやかな人たちに踊つてもらうという案がある。そうすれば一般の人々も違和感無しに踊れるだろうというのである。風紀部会では「ナウい曲をバンバン掛けよう」と張り切つてゐるようだ。

文化祭 ご案内

内容は以下、御覧の通りです。今年の文化祭、皆さん充分に楽しんでいて下さいネ!!

☆舞台関係クラブ
○プラスチック部○青春の門
プラスチックバンド聞かずして文化祭はなしノぜったに来てネ!!
○軽音エレキ班○テーマ愛しあつてのかいノ皆さん見に来て下さいネ!!
○軽音フォーク班○最大のイベントである文化祭で最高のステージを見せます
○琴部○荒城の月、京人形の夢など一生懸命に弾きますので、皆さんいらして下さいね。
○洋舞部○クラシックバレエとジャズダンスをフレッツシュに贈ります。

○演劇部 ○星子の生きた夜 十月二日午後一時十分より是非見にきて下さい。
☆展示関係クラブ
○アマチュア無線部 ○無線公開運用、コンピュータ運用、製作作品展示。
○華道部 ○花をより美しくする生け花。見ているだけで心をなごませてくれます
○生物部 ○深まりゆく秋を味わいたい方は、自然とプロレスをこよなく愛する生物部へどうぞ。
○放送部 ○今年は、視覚的に工夫を凝らすなど、例年になく趣向を考えています
○写真部 ○もうこんな時間

におもしろいと思つてゐる。……？
○文学部○テーマは愛。若手（？）教師陣総出演。スライド上映『楼蘭』いらして♡
○書道○純和風の作品展です。見に来て下さいネ！
○茶道○どなた様でもお客様なら大観迎／うえるかむ！
○美術部○文化と言えば芸術、芸術と言えば美術。美術／美術／美術部において○myはぼつ／なROCK KNOLLPlats go、
二一八（中村）
○結成して間もないテクなしパワーオンリーのハード

るせ、三日曜日の一時からヨロシク。グループ名は未定（二一八（江守））

○新聞部：今年の特集は、七月二十四日から二十七日まで徳島県鳴門市と兵庫県淡路島を結ぶ、大鳴門橋の取材結果を南校舎二階の三・一三の教室で展示します。

展示内容は、大鳴門橋の千分の一の大きさの模型や、市役所、鳴門工務事務所、旅客船協会などの写真などを展示し、それぞれの部門の説明を詳しく書いておられます。

是非おこし下さい。お待ちしております。

中国・朝鮮側より激しい非難をうけてから、はじめて文部省が慌てだした▽民権主々義、言論、出版の自由が憲法の上で認められておりながらも、実際にはこのような事実がある。世の中は矛盾だらけだ▽ところで御存知だろうか。我が新聞部にも、これとよく似たものが「検閲」という形で置かれている。一般に生徒の白紙性は認められてはいるがこれは現在の「検定」と同様、しばしば「書き換え」が可能なのである。

(針子)

問が、自かひの聞て平の形由式で昇る

部 説

ある。これは「生徒に
ある」から、あまり読む
生徒のための自由な
気がしない。「人に読ん

存在価値の減少

前途危ぶまれる “聖火”

でもらいたいというほどの気持ちもないし、書く必要性も感じない」から書く気がしない。こう考えている者が多いのではないだろうか。

「聖火」に投稿するのは、大抵文学部の者か、書くことに興味がある者

であれば「読む」ことや「書く」ことにさほど抵抗は感じないだろう。

伝統ある「聖火」だが皆が楽しめるようにするには、多少の中断や変身はやむを得ないだろう。一度、「聖火」を見直すべきではないだろうか。

書検定問題について話し合われたクラスがあったようである▽教科書の「書き換え」は昭和二十七年頃からあり、「侵略・進出」の問題は、何も今に始まったことではない。国内においてもそのことに対する批判の声は以前からあったが受け入

[illegible]

存在価値の減少

前途危ぶまれる 「聖火」

徒が「自由な意見を出し
合う場」として、「聖火」
を必要とするのであれば、
「聖火」は復活するはず
である。

また、「聖火」をなくし
てしまつて、その代わり
に、三年生の卒業文集を
作るというのもよいだろ
う。これなら、たくさん
知っている者の文章が載
つているし、自分に関連し
た内容が多いから、身近
に感じるのはないだろ
うか。卒業文集という形

省の言葉は、一般によく知られている▽そもそも「教科書検定」の意味は、大まかに言くと①誤まった事実の記載を訂正する②誤字・脱字を調べる③学習を進める上で支障となる記載を取り除く――などである。③の場合による判断は全て文部省にゆだねられている。つまり、文部省は今までのこの③を利用して「書き換え」を行ってきたようだ▽我が阿倍野高校でも、各学年で社会科学の時間に、この教科

10

「聖火」に投稿するため
に書きたいなどという者
は、わずかであろう。

現在の状況では、「聖
火」は「誰が何を書いて
いるかわからないし、内
容もよくわからない所が
ある」から、あまり読む
気がしない。「人に読ん

である。「聖火」を全校生
徒が楽しんでいるわけ
ではない。「聖火」が一部
の者だけの機関誌になっ
てしまえば、「聖火」の本
当の価値は、失われてし
まう。「聖火」の価値や必
要性が軽視されてきている
のなら、一度「聖火」を
なくしてしまふのもよい
だろう。それで、もし生

夏休み前後から、各新聞誌上のトピックを占めてきた問題といえば、教科書検定問題である▽「我が国が、中国、朝鮮に対して行った行為は『侵略』ではなく『進出』であった」という文部

5A

鳴門市役所

市役所・清水さん

承を一応得ることができた。また、この大鳴門橋が完成すると、カーフェリーの利用者数が三割も減少し、七割

ーの快適性、時間などを各件に入れてアンケートを取って、コンピューターで集計して、残存量の予想を出す

橋の方へ流れてしまふ。そうなると、収入減による赤字、そしてまた便数減らし客が減るの堂々めぐりとな

住民インタビュー

業員の問題だけは、納得いくようにとり計ってほしいと、共正汽船では、国に強く望んでいる。

環境保護を望む

乗員の問題だけは、納得い
くようにとり計ってほしい
と、共正汽船では、国に強
く望んでいる。

ど話では、この
すると、船を利用
直接車で淡路島ま
とができるので、

発展への不安

欠点の支服が必要

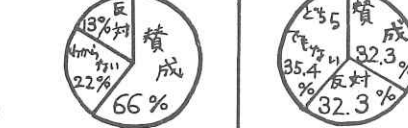
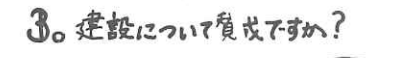
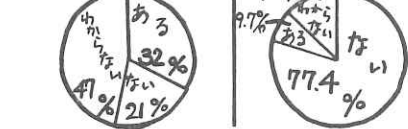
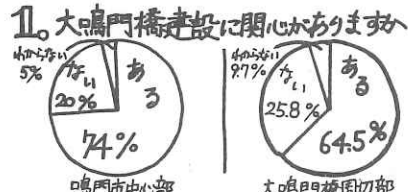
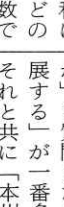
てくれる。それが、本四連絡道路（大鳴門橋につながる道路）の建設によって、山を削り、木を倒して無残にも破壊され続けている。

このように、大鳴門橋による鳴門市の発展の代償は余りにも多すぎる。本当に総額八百億円をかけてまだ建設する必要があるのだという。現在では、明石海峡大橋の実現も不可能に近い状態である。これでは、

交通の便などをめぐるこの橋についてどう思っているのだろうか。一部の観客に、インタビュした。最初に「橋が建設されているのを知っていますか」を質問すると、「知っています」が90%。次に「架橋によってどう思いますか」と住民には「賛成」が96%

なる反面、自然破壊などの悪影響が心配され、少数ではあるが反対の声もあった。また「もしあなたが地元住民なら、架橋を願いますか」という質問に対しては「願う」が92%であった。しかし実際は、橋の付近の住民は、自然破壊を理由に、

展す」が一番多かったが、それと共に「本州からの悪」と整備するために自然破壊は避けられない問題である。観光客は、自然を破壊してまで建設される橋には、それほど重要性を感じていないようであった。



今の高校生は幸せ 校長先生にインタビュー

今回、我々新聞部は今年から校長先生にインタビューしようという力強さを求めた。校長先生は、今年から校長に就任された中西昭と体育大会がありすが、そのことについて何か。校長先生は、以前と違って遊びの要素が多く取り入れられ、祭の部分が「文化」の部分を抑えていく。文化の部分を復活を期待したい。

また、体育大会の方は、体操実技の適度な緊張感や競走における集中とシヨ一的な催しの開放感とがうまくバランスをとれていて充実している。

文化祭や体育大会のような行事の中で、平素の授業がホームルームでは気づかない生徒の長所を発見することがよくあるものだ。

新聞部——自治会についてはどう思われますか。校長——自治会執行部に立候補する生徒が少なく、成長していない高校が多いと聞いている。自治会に対する無関心さの表れであろう。

いい刺激だった 中国訪問体験談

八月下旬、日中友誼善のたため、大阪府下から約六十名の高校生が選抜され、訪中使節団に参加した。我々が訪中使節団に参加したのは、八月下旬、日中友誼善のたため、大阪府下から約六十名の高校生が選抜され、訪中使節団に参加した。我々が訪中使節団に参加したのは、八月下旬、日中友誼善のたため、大阪府下から約六十名の高校生が選抜され、訪中使節団に参加した。

クワズポット

秋は、まさに音楽の季節。地味に毎日の練習に励んできた。文化祭は唯一、一般生徒等に日常の成果を発表できる場所であるから。

ここのクラブは、クラブの研究をしたり、譜面を見たりして一曲一曲を大切にしている練習風景は、真剣そのものである。毎日の練習内容は、ギターを片手に演奏や歌を歌うことであるが、個人または自分のパートナート行うので、それぞれ異なることをしている。また、「まったくの初心者でも、先輩達のやさしい指導によって、誰でも上達することが出来る」と言うほど、練習は行き届いている。そして、先輩と後輩の関係も問題なくすがすがしい。

文化祭に完全燃焼

軽音フォーク班

い。そういつたことから、部長も普段から色々と気を配っている。実は、近年になって夏休み合宿を行うようになった。今年八月十八日、兵庫県の神戸市で行った。目的は、技術向上のためもあるが、やはり練習を少し離れて、一年間の疲れを癒やすことである。一年間に数回、視察教室で、他校とコンサートを行う。部員達は、また六時ごろまで練習をして、コンサートに望む。そして、先輩と後輩は、互いに励ましあっている。また、「フォーク」というのも、このことである。文化祭。旧講堂において、九グループが発表する予定である。

ゆりこの読書紹介

スポーツ

万里の長城

結婚後、わずか十日でイタリアのある若い夫婦が引きさられる。戦争で夫がソ連線へ送られた。たがった。

スポーツ

万里の長城

結婚後、わずか十日でイタリアのある若い夫婦が引きさられる。戦争で夫がソ連線へ送られた。たがった。



中西昭次校長先生 紹介 昭和五十五年、大阪府立高津高等学校(定時制)から阿倍野高等学校に転校して赴任された。さらに、今年四月に、平田泰世校長に変わって、校長として就任された。現在に至る。



アイロニー 授業中。文化祭後。中間テスト後。アイロニー 授業中。文化祭後。中間テスト後。

咲き匂う五月、美しい程の情熱。だがそれとつかの間、二人で道行の約束までしておきながら、やがて青年は他の少女に心を移して去ってゆく。

歳月が経ち、再びその地を訪れた時、彼はかつての少女が、自ら命を縮めたことを知る。旅先での出来心とはいえず、青年のあまりの身勝手。思いつめながら死んでいった純真な少女。

林檎の木とは、望んでも到達することのできない理想郷を指すという。

※その他

○アルト・ハイデルベルク
マイアー・フェルスタ著
新潮文庫

○みだれ髪 与謝野晶子著
新潮文庫

○悲しみよこんにちわ
サガン著
新潮文庫

○どうですか？
新潮文庫

○おうち恋愛に関するものばかりをあつめてみました。
この中で貴方の気に入った作品があれば、光栄です。
(百合子)

同、お待ちしています。